

事務事業名 新エネルギー設備普及事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1636

施策：	23	循環型・低炭素社会の構築	財務コード	01040106-14-00
基本事業：	03	地球温暖化防止の推進	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	市民が取り組んでいる環境にやさしい生活様式の項目数（平均） 再生可能エネルギーを使用している市民の割合 公共施設のCO2排出量		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成24年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			《対象システムと補助金の額》 住宅用太陽光発電 25,000円/1kw（100,000円限度） 家庭用燃料電池[通称エネファーム] 一律100,000円  《交付対象者》 市内に住所を有し、市内事業者と設置の契約を結ぶもの  《交付までの流れ》 補助を受けたい市民は、設置前に市に申請書を提出する。 市は、申請者に補助金交付可否決定通知を出す。 申請者は、設置後、市に報告書を提出する。 市は、審査の上、補助金の交付額を確定し、申請者に通知する。 市は、補助金を交付する。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			新エネルギー設備が普及することにより、低炭素社会の構築を行うことと併せて、地場企業による設置を交付条件とすることにより、市の中小企業の活性化にも繋げている。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
住宅用エコエネルギー導入促進事業補助金等の交付件数（累計）		件	実績 317	実績 329	当初 367	要求 340	計画	計画	367
5. コスト									
事業費		計	千円	1,400	1,150	2,000	1,500		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	0		0	0		
一般	千円	1,400	1,150	2,000	1,500				
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3	0.3			
正職員人件費		千円	2,399	2,427	2,420	2,396			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,799	3,577	4,420	3,896			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		交付申請は、環境省の再資源エネルギー買取制度の動向に左右されるが、市内に戸建住宅の新築物件は依然存在するため、市内の設置件数は着実に増えている。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）		備考・特記事項 or 進行管理欄							
地球温暖化対策として、自ら居住する住宅に太陽光発電や民生用燃料電池を設置する際に、補助金を交付することとした。また、市内における太陽光発電関連産業の振興も目的とした。									